平成20年度に特に注意を要する病害虫

（平成19年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫）

小麦のムギキモグリバエ

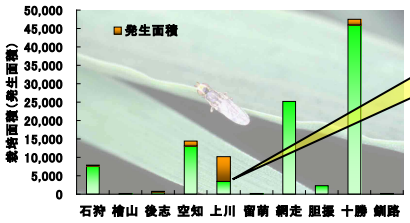

図. 平成19年の小麦栽培面積に占める
ムギキモグリバエ発生面積（秋まき）

地域によっては、適正時期よりも早く播種された秋まき小麦が、よい越冬場所になっています。

○平成19年は、上川支庁管内を主体に、ムギキモグリバエによる**春まき小麦の被害**が多発しました。

※主要な被害は早期加害による異常分げつ発生による無効茎の増加です。

○秋まき小麦の播種が早めになりがちな上川北部では被害がいっそう目立っています。

ムギキモグリバエ対策

○秋まき小麦の播種は、早すぎない適正な時期に行いましょう。 ……越冬世代対策

○春まき小麦の播種は、なるべく早く行いましょう。 ……加害期間短縮、被害症状軽減

○防除にあたっては、5月下旬以降、6葉期頃まで茎葉散布を行いましょう。 ……適期防除

大豆のマメシンクイガ

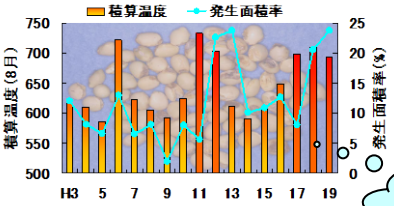

図. 8月の積算温度とマメシンクイガ
発生面積率の年次推移

平成12,13年、18,19年の多発は、前年夏の高温が原因と思われます。

○夏が暑い年が続いて、被害が増加傾向にあります。

○19年も暑かったため、**20年も多発が懸念されます。**

○大豆の**連作で被害が多発**する害虫です。

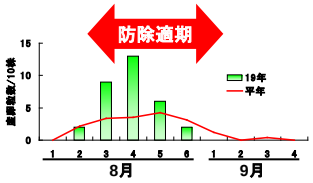

図. マメシンクイガの産卵消長（芽室町）

○ 発生時期に地域差はなく、防除適期は**8月中旬～9月上旬**とされています。

○成虫の飛翔や莢に産み付けた卵を観察して防除時期を確認できます。

○適正な輪作を行いましょう。

New! 新たに発生の認められた病害虫

（詳しくは病害虫防除所ホームページをご覧ください）

道立中央農試　生産環境部・予察科
住所: 北海道夕張郡長沼町東6線北15号
電話番号:　0123-89-2080
HP: http://www.agri.pref.hokkaido.jp/boujosho/index.html
e-mail: boujo@agri.pref.hokkaido.jp